

2020～2021 年度
週報



R I 会長 ホルガー・クナーケ
R I テーマ 『ロータリーは機会の扉を開く』
地区ガバナー 相原 茂吉
地区テーマ 『Let's make fellows!』『友達をつくろう!』



国際ロータリー
第2570地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕 ニックス 〒350-1305 狭山市入間川4-25-3 TEL 04-2954-9595
〔事務所〕 〒350-1305 狭山市入間川1-24-48 TEL 04-2952-2277 FAX 04-2952-2366
HP: <https://www.schuohrc.org> E-mail: schuohrc@pl.s-cat.ne.jp
会長 柴田讓 会長エクト 菊田邦彦 副会長 寶積英彦 幹事 佐々木康

[第3グループ 例会日: 新狭山① 入間②入間南③ 飯能④ 日高⑤ 狭山中央⑥ 所沢⑦ 新所沢⑧ 所沢西⑨ 所沢東⑩ 所沢中央⑪]

第1263回 (3月19日) 例会の記録

点 鐘 柴田讓会長
合 唱 四つのテスト
第2副SAA 小林会員 栗原会員

出席報告 <代> 佐々木康 幹事 >

会員数	出席者数	出席率
22名	15名	88.24%

会長の時間



柴田 讓 会長

前回の例会でガバナー月信2月号が配布されました。「平和構築と紛争予防」のテーマでのガバナー挨拶がありました。内容は戦時中に起きた一陸軍中將の人道的行為でした。

私達は、ユダヤ人の迫害を救った「杉原千畝」外交官の行為は有名ですが、同陸軍中將「樋口季一郎」氏の同様のユダヤ迫害から救った出来事を知られておりません。

簡単に申し述べれば……

当時ドイツとその衛星国に住んでいたユダヤ人の中にシベリア鉄道で極東国境まで逃れてきた人達があり、上海の米国領事館に亡命申請し日本経由で米国に向かおうとしていました。しかし、シベリア鉄道で国境のオトポール駅(当時の名前)まで辿り着いたユダヤ人はそこで足止めされました。米国に渡るには上海にある米国領事館に行かなければなりません。そのためには満州国を通る必要がありました。しかしドイツと日独防共同盟を結んでいた日本(満州国の外交部)はユダヤ人の満州国通過

にストップをかけたのです。当時ハルピン陸軍特務機関長だった樋口少将(当時)は、食料、衣類、燃料を提供するとともに満州国への入国斡旋や満鉄によるユダヤ人輸送に精力的に動きました。その時期「満鉄総裁」は松岡洋右でしたが、これを全面的に協力し実行させました。

等々の体を張った人道上の行為は大変なことだったと思います。

又、他方、国と国の絆を結んだ一例を報告します。

1985年(昭和60年)3月17日、「今から48時間後、イランの上空を航行するすべての飛行機をイラク空軍の攻撃対象とする」。

わずか2日間の猶予の後、3月19日午後8時30分以降は、たとえ民間機でも無差別に撃墜するという、イラクのサダム・フセインの唐突な爆弾宣言が世界中を混乱に陥れました。いわゆるイラン・イラク戦争です。各国政府は48時間以内に自国民をイラクから脱出させようと奔走し、日本もその例外ではありませんでした。ところがイラクとの間に定期便を持たない日本人には脱出するすべがありません。ほとんどの日本人は、特別機や臨時便で次々と出国していく外国



樋口季一郎



森永堯著書「トルコ世界一の親日国」

1890年9月オスマントルコ帝国の軍艦エルトゥールル号が、豊野沖で台風のために座礁沈没し、500有余名殉職・69名救出の初の悲劇の恩恵に報いるべく、95年後にトルコ共和国が、テヘランに派遣した救援機で在留邦人が生き延びた「海と空」との友情物語を推薦します。

人を見送ることしかできませんでした。その中で日本政府の対応は遅れました。

絶望的状况の中、日本が最後に頼ったのはトルコでした。トルコ政府との交渉は伊藤忠商事の**森永堯**とトルコのオザル首相と交渉しました。

両者の関係は親しい友人という付き合いだったようです。

交渉時「トルコ人を優先して救出するのは当然ですが、どうか日本人をトルコ人と同じように扱っていただけませんか。今日本が頼れるのは貴国しかありません。」長い沈黙が二人の間に流れました。そしてオザル首相の口から発せられた運命の言葉・・・

「オッケーだ、すべてアレンジするよ!」「我々は日本人に恩返しをしなければいけないからね。」という言葉でした。

では、その恩返しとは・・・

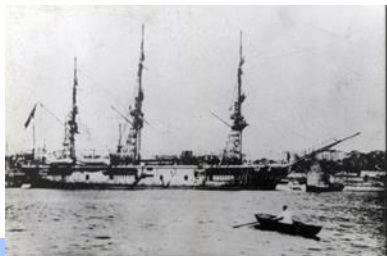
1890年(明治23年)9月16日未明、トルコ軍艦のエルトゥールル号が帰国途上、和歌山の紀伊半島沖で暗礁に乗り上げ、650名中587名が死亡した海難事故が発生しました。

付近の住民及び村長たちが必死の看病をし、一昼夜に渡って救命活動を行いました。65名中61名が生存、4名が看病のかいなく亡くなりました。

このトルコ海軍「エルトゥールル号」の海難事故が発生した折り、日本人が一昼夜乗組員に対し必死に看病して61名の生存者を救出し本国に戻っていったことが、1985年のトルコ政府の誠意あふれる態度に繋がったのでした。

後日、駐日トルコ大使はその理由を短いコメントで表しました。「エルトゥールル号の借りを返しただけです」と。

トルコでは「エルトゥールル号事件」は教科書にも載っていて誰もが知っている歴史的事実です。エルトゥールル号の事故に際して、日本人が成した献身的な救助。それをトルコの人々は95年経っても忘れていなかったのです。



エルトゥールル号



エルトゥールル号殉難将士慰霊碑
(和歌山県串本町)

本日のお客様

〈 寶積英彦 副会長 〉



さやま市民大学同窓会事務局長
黒川 昭様



社会福祉法人至福の会本部長
大野 裕一様

幹事報告

〈 佐々木康 幹事 〉

- ・4月のプログラムが理事会で承認
- ・社会福祉法人至福の会本部長 大野裕一様入会決定
4月9日入会セレモニー開催予定

受贈会報

- ・所沢中央R C

回覧

- ・ハイライトよねやま
- ・新所沢R Cより「例会変更のお知らせ」

卓 話

さやま市民大学同窓会
事務局長
黒川 昭 様



<プロフィール>

(1949年)東京都池袋出身
(1975年)埼玉県狭山市広瀬に転入
埼玉大学卒業
大手上場企業就職
美術出版社を経て(株)公文教育研究会に67際まで勤務
狭山市社会教育委員
水富地区下広瀬団地自治会長
さやま市民大学同窓会事務局長
まちの縁側推進プロジェクト水富代表プロデューサー
水富地区防犯ネットワーク会長

<水富地区の概要>

狭山市の最も西に位置
広瀬 広瀬東 広瀬台 根岸 笹井で構成
20自治会 約7,500世帯(自治会入会世帯)
小学校3校 中学校1校

■狭山市の後期高齢者人口、つまり75歳以上の人口は19,745人ですが、この後期高齢者人口のうち一人暮らしの方は3,464人(約17.54%)です。この一人暮らしの高齢者が、一人ぼっちで孤立してはいないか・・・とても気になります。

私の住む水富地区は、福祉サロン活動が盛んで、40ヶ所を超える高齢者サロン、子育てサロン、身体を動かすサークルが活動中です。

そうした所に行けない人、行きたくない人 はどうするのか??

- ◆ 孤独が好きな人もいるが、そのような人もちよつとした繋がりや人の助けが欲しい瞬間もあるだろう
- ◆ 孤立する人々をつくりたくない。
- ◆ 人と人との繋がりづくりこそが地域づくり

子の想いを共有した同志40人でプロジェクトを結成
狭山市第2層生活支援体制整備事業
として平成30年から活動開始!

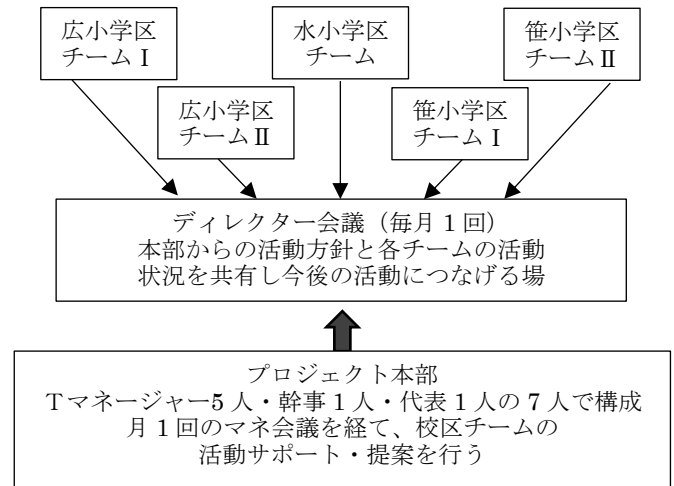
■昔の日本家屋には必ずと言ってよいほど「縁側」がありました。

- ◆ 隣近所の人が気軽に訪ね合い、お茶を飲みながらおしゃべりをする
- ◆ 中に入っての堅苦しい話ではなく、ゆる〜く繋がるそんな居場所を方々につくりたい
- ◆ 地域の人と人とが繋がる共生のまちづくり

それが **まちの縁側推進プロジェクト水富** の理念

「まちの縁側推進プロジェクト」活動形態

(令和2年1月現在会員50人)



「まちの縁側推進プロジェクト」の活動

- ◆ 広瀬東、広瀬、広瀬台、笹井地区の20数か所ベンチを設置。
買い物帰り、病院の行き来に誰でも座って一息つける居場所である。
知らない人同士が座り、ひとこと挨拶を交わす。しれも一つの繋がり。やがて顔見知りになり会話を交わす。暫く会わないと心配になる。そんな人達がたくさんいる地域になることを目指している。
- ◆ 移動図書館移動販売とタイアップした屋外で安全にコーヒーを提供する「縁側カフェ」
- ◆ 子供への読み聞かせ会、
- ◆ 大人対象の読書(声を出して輪読)会
- ◆ 趣味や特技をお持ちの方に講師になって頂くミニ講座(写真が趣味の方にアングルの撮り方等の講習会)
- ◆ ノルディックウォーキングの講習会

残念ながら現在は活動が思うようにできませんが、プロジェクト思念を推進する活動を工夫しつつ、これからも地域の皆様が気楽に集まる、ゆる〜く繋がる地域づくりを地道に続けていきたいと考えています。

ニコニコボックス

- 柴田君 これから継続して例会ができそうですので、会員の皆様ひきつづき宜しくお願いします。
- 佐々木君 大野裕様、本日は当クラブへようこそおいでくださいました。入会を決定いただき、ありがとうございます。歓迎いたします。さやま市民大学同窓会事務局長黒川昭様、本日はお忙しい中ようこそおいでくださいました。本日の卓話楽しみにしていました。宜しくお願い致します。
- 江原君 さやま市民大学同窓会事務局長黒川昭様、本日の卓話を楽しみにしておりました。宜しくお願い致します。社会福祉法人至福の会本部長大野裕様、当クラブに入会ありがとうございます。今後共宜しくお願い致します。
- 菊田君 さやま市民大学・まちの縁側推進プロジェクト水富代表黒川昭様、本日の外来卓話よろしくお祈いします。又、お客様の様の大野様、ようこそいらっしゃいました。ありがとうございます。
- 小林君 黒川さま、ようこそお越し下さいました。稲荷山公園もさくらの花が咲き始めました。駅からさくらとたんぽぽをめでながらここまで歩くのが嬉しくてたまりません。大野裕一さまもようこそお越し下さいました。大歓迎です。
- 宮岡君 先日の例会を欠席しましたので、今日、結婚記念祝と誕生祝を合わせいただきありがとうございました。女房との付き合いも今年で50年。年も76才。いよいよ人生の第4コーナーを廻ったかなというところです。よろしくお祈いします。
- 田端君 さやま市民大学同窓会事務局長黒川昭様、本日はようこそお越し頂き、楽しみにしておりました。そして、社会福祉法人至福の会本部長大野裕様、4月から当クラブにご入会頂きありがとうございます。感謝申し上げます。
- 渡邊君 さやま市民大学同窓会事務局長黒川昭様、狭山中央RCへお越し頂き有難うございます。本日の卓話を楽しみにしておりました。どうぞ宜しくお願い致します。社会福祉法人至福の会本部長大野裕様、ようこそRCにお越し頂き有難うございました。どうぞ宜しくお願いします。

◆ 次の例会 ◆



4月9日(金)

第2副SAA：沼崎会員 小幡会員
大野裕一様入会セレモニー
外来卓話：黒川玲子様

4月16日(金)

例会取り止め

4月23日(金)

第2副SAA：佐々谷会員 清水(武)会員
パスト会長の囀：小幡直樹パスト会長
会員卓話：菊田邦彦会員